

ふるさと応援団木島平会会報

新年親睦交流会盛大に開催

1月19日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷でふるさと応援団木島平会の新年親睦交流会が行われました。昨年に引き続き2回目の開催となる今回は、会員28人と村から3人の総勢31人が出席し、情報交換や近況報告などをして交流を深めました。また、村の特産品が当たる福引も行われ大いに盛り上がりました。参加者の中には、今回初めてこのような会に出席しましたが、会員同士の出会いと話題に尽きなく楽しい時間が過ごせました。今回交流会に参加して良かったです。」などの声も上がり、参加された会員のみなさんは有意義な時間が過ごせた様子でした。



会員のみなさんのコメントをシリーズとして紹介します

「自然劇場きしま平と私」vol.1 協働の村づくりに参加を 中島今朝清（市之割出身）

「麗しき、青山なみを・・・」で始まる木島平中学校校歌、皆さん覚えておいででしょうか。私はこの校歌の歌詞の中の、「過ぎし幾春幾千歳 遠き我が父母のここに生まれてここに笑み 苦闘の光あふるる地」になると身が引き締まります。私たちの遠い祖先が豪雪のこの地を開き、肥沃な大地にしたご苦労を思うと感謝と畏敬の念を抱きます。木島平村は私の自慢の村であり、父母、祖父父母祖先が眠る地でもあります。そして私たちが慈しみ育んでくれた地です。芳川村長が協働の村づくりをスローガンとして出発されました。私たちも協働の村づくりに参加しようではありませんか。誇りあるふるさと木島平村を全国区にしようではありませんか。また、私たちの思いを木島平村に届けようではありませんか。

「うちの区を紹介します」vol.1 市之割区 中島今朝清（市之割出身）

木島平村の地図を改めて見ると、行ったことがない集落があり恥ずかしい限りです。多分、市之割は往郷の一番下の集落で中部小学校より上には行く機会がなかったのだらうと思います。市之割にはお堂・公会堂・お宮・筆塚があり何の日だったかお堂に地獄絵が飾られ、嘘をついたり悪いことをすると絵のように地獄に落とされると大人に言われ、怖かった記憶があります。小中学生になると夏休み期間中は集落の中ほどにある公会堂で早朝の学習会があり、宿題を持ち寄って学び、その後はお宮で野球などをして遊びほうけていました。

中学に入ると男子は楽隊に入ります。横笛・大太鼓・小太鼓・シンバル等で題名は定かではありませんが、村は土から誠から・この静宮に鎮まりて青葉繁れる桜井の信濃の国等、秋祭りの前座の様に行列の先導をし、余所集落に招かれて行ったこともありました。皆懐かしい思い出です。今でも祭はやしのリズム、楽隊での曲を口ずさむ時があります。思い出は尽きませんが、いずれも楽しい事ばかりです。

「い～なか交流館」 <http://www.kijimadaira.jp> (村ホームページ) <http://www.kijimadaira-fan.jp> (URLを入力しアクセス)

村では「農を基軸とした交流型産業の振興」を図るため、今まで行政情報を中心に提供していた村公式ホームページをリニューアルし、「信州木島平・田舎いい仲間交流サイト」を合言葉に、行政情報に加えて、「い～なか交流館」のサイト名で木島平村のファンクラブサイトを設け、村の様々な情報を発信しています。なお、現在は試験運用期間中であるため、一部のサービスはご覧いただけません。また、4月からは、会員登録」を済ませた方に限り無料でご覧いただけますが、将来的には「会員登録」が必要となります。

【もっとい～なかニュース】
最新イベント情報の配信・登録会員のみさなんへのメールニュースの配信。

【自然劇場ほっとチャンネル】
村の出来事を動画でご覧いただけます。

【ずっと・きしま平Webカメラ】
村の風景やイベント等の様子をライブカメラでご覧いただけます。

【ココいいね画像投稿掲示板】
登録会員のみなさんから村の見所などの画像による投稿を受け付けています。

【むら人ブログ】
村の日々の移り変わりなど様々な「むら人」が綴る日記をご覧くださいだけです。

【フォトギャラリー】
村の四季折々の風景などをご覧くださいだけです。

【村のうまいもの】
村の特産品情報をご覧くださいだけです。

【いなか暮らし】
いなか暮らしの情報提供をしています。

区民の声 元氣な活動や自慢 今後の展望を紹介

市之割区 地区のテーマ 魚のすめる村づくり (将来像)

市之割区には南に樽川、北に馬曲川、中央には小樽川源流の大川があります。水に恵まれた区であり、水争いの歴史はほとんどない反面、降雨が続くと洪水による被害を受け復旧に苦労した先輩諸氏の話があり、市之割は水害の歴史でもありました。現在は治水対策や護岸整備が行われ、昭和25年の大水害以来ほとんどなくなったことは本当に有り難いことです。

水が豊富にあるため、どの家にも池があり魚が泳ぎ風情をなし、また冬には流水を消雪に利用し、水を道路に、家の庭先にと有効に利用しています。この恵まれた川にたくさんの魚がすめるように、平成3年に魚巢のある川作り、平成5年には親水公園の造成などを行い、お盆の帰省客の多いときには魚を放流し、子どもたちの大歓声を聞くことができます。

区では年一回区民総出で大川護岸の草取り、河床のごみ拾いなどをして、魚のすめる川にしようと努力しています。この親水公園に魚が



いたずらされず、洪水によって流されることもなく、たくさん育っていけば本当に素晴らしい地域になるだろうと夢を見ている市之割区です。

田舎暮らしに関する魅力あふれる情報を、インターネットを介して発信し、体験～滞在～移住へのお手伝いをしています。木島平村も加入していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

田舎暮らし楽園信州ホームページ <http://www.rakuen-shinsyu.jp>